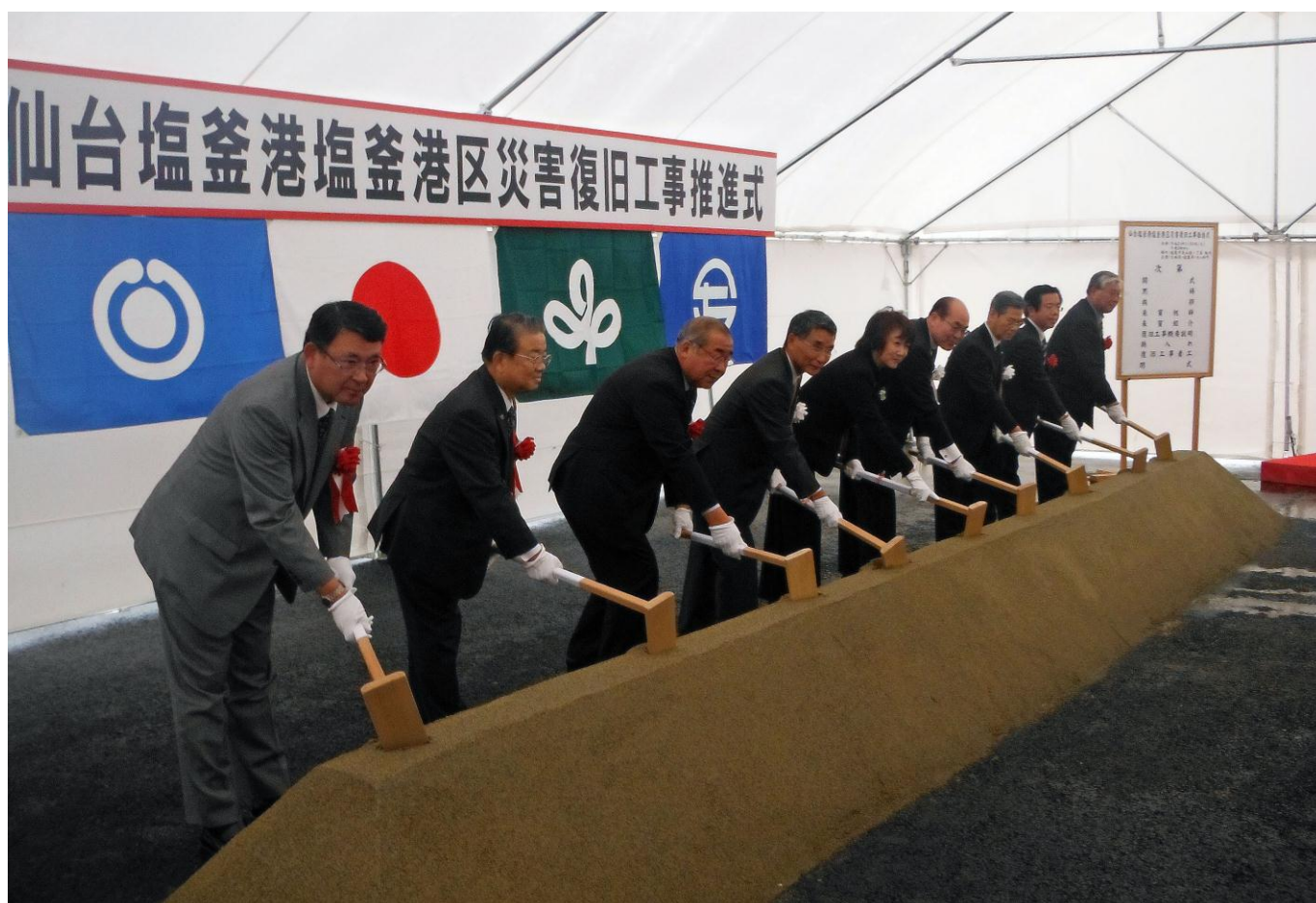




仙台塩釜港復興だより 第9号 — 港湾は人の心も結んでいます —

仙台塩釜港（塩釜港区）で災害復旧工事推進式開催



●推進式（鍬入れ）状況

11月6日（火）に仙台塩釜港（塩釜港区）の貞山ふ頭2号岸壁において、宮城県・塩竈市・七ヶ浜町の主催により、「仙台塩釜港塩釜港区災害復旧工事推進式」を開催しました。仙台塩釜港（塩釜港区）については、東日本大震災によりすべての施設が被災したことから、港湾物流の拠点である貞山ふ頭をはじめ、災害復旧工事を進めております。

推進式には、主催者を代表して若生副知事の挨拶の後、御来賓として参列していただいた郡内閣府大臣政

務官兼復興大臣政務官、中村宮城県議会議長他から御祝辞を頂きました。

仙台塩釜港（塩釜港区）の災害復旧工事については、この推進式を契機として、より一層の復興・復旧を目指し、東京都・大分県・島根県・石川県からの派遣職員を含め、職員一丸となり取り組んでまいります。

仙台塩釜港（塩釜港区）の工事状況

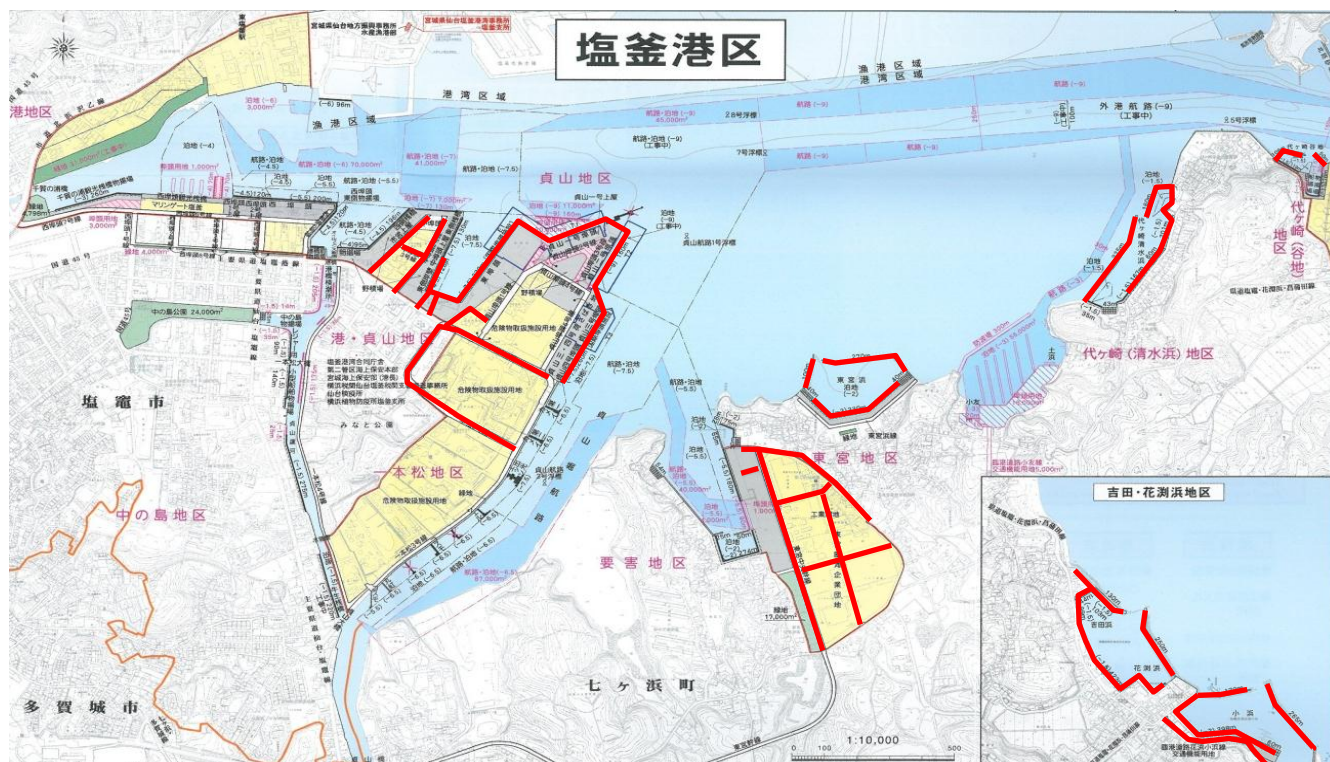


図-1 災害復旧工事契約箇所図（浦戸地区を除く）

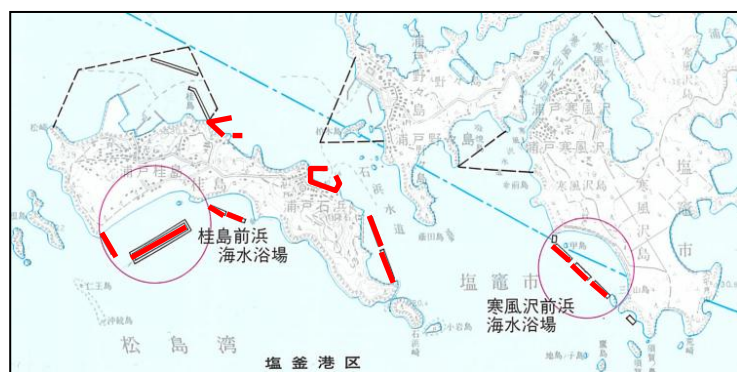
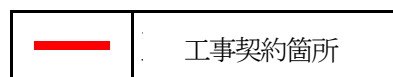


図-2 災害復旧工事契約箇所図（浦戸地区）



平成24年10月30日現在

仙台塩釜港（塩釜港区）においては、10月30日現在、42施設で工事施工業者が決まっており順次、工事に着手しているところです。（上図参照）

工事にあたっては、地震により沈下した岸壁や、接続する臨港道路の嵩上げ、さらには津波により流失した防波堤や物揚場などの復旧を行います。

今後は防潮堤関係の設計を急ぎ、準備が整い次第工事に着手してまいります。

工事に伴い港湾利用者の方々には大変御不便をお掛けすることになると思いますが、より良い港湾施設としての復旧を目指して施工していきますので、御協力をよろしくお願いいたします。

職員一丸となって早期復旧を目指します！



平成24年度港湾保安総合訓練を開催



●洋上訓練の様子



●岸壁訓練の様子（不審物処理の様子）

9月26日（水）、東日本大震災の影響により昨年実施されなかった「仙台塩釜港港湾保安総合訓練」が実施されました。

この訓練は、仙台塩釜港の国際埠頭施設において、埠頭指標対応措置の実施を確保するために必要な情報伝達や、緊急事態発生時における関係機関との連携確認及び制限区域への人・車両などの不正な侵入を制限するための出入管理を確認することにより、いっそうの危機対応能力の向上を図ることを目的としています。

また、この訓練は、港湾事務所、宮城海上保安部、宮城県警察本部、横浜税関仙台塩釜税関支署、仙台入国管理局などで構成する港湾保安委員会が主体となって実施しています。

当日は、テロ行為が発生するとの想定の中、平時より円滑な情報共有を行えるようにするための「情報伝達訓練」、不審物や危険物等の持ち込みを避ける「船舶立入検査」、検査により発見された「不審物の処理」およびテロリストと想定される「不審者の追跡」、検挙するための「岸壁訓練」、さらに、小型船舶を使い、沖合逃亡した不審者の追跡、検挙するための「洋上訓練」が行われました。

国際拠点港湾である仙台塩釜港の港湾管理者としての自覚を持ち、本年度の訓練をしっかりと振り返り、改善を重ねることで、一層安全で安心な港づくりに努めていきます。

中野5号ふ頭の復旧工事を完了

仙台塩釜港（仙台港区）の復旧工事は随時進んでおりますが、9月末までに、中野5号野積場の舗装復旧工事が完了しました。

野積場には区画線を引き、利用者の方々が使いやすい工夫をいたしました。今後はきれいに復旧された野積場を御利用いただけます。



豪華客船「飛鳥Ⅱ」寄港

11月8日(木)、豪華客船「飛鳥Ⅱ」が震災後初めて仙台塩釜港に寄港しました。

当日は乗客800人を乗せ、仙台港区の中野1号ふ頭に接岸しました。岸壁では宮城県観光PRキャラクターの「むすび丸」がお出迎えし、音楽隊や伊達武将隊による歓迎セレモニーが行われました。また、宮城の名産品を販売するブースも設けられ、乗客らで賑わいました。

豪華客船の寄港は観光面でのPRになるほか、港の復興を全国にアナウンスするという役割も期待されています。



仙台臨海鉄道 完全復旧

津波被害により運休していた仙台臨海鉄道は、最後まで運休が続いていた仙台北港駅-仙台港駅間(1.2キロ)が9月7日(金)に運転を再開し、完全復旧しました。

同日12日(水)には、仙台港駅において、JX日鉱日石エネルギー株式会社仙台製油所で製造された石油製品の輸送再開に伴う記念式典が行われました。

仙台臨海鉄道は、東日本大震災により被災を受け、全区間で列車が運休していましたが、昨年11月の陸前山王駅-仙台港駅-仙台西港駅間の再開(主な貨物はビール)、今年3月の仙台港駅-仙台埠頭駅間の再開(レール輸送の取扱いも再開)に続き、今回で完全復旧となります。

今回の全線運転再開により、被災前に同社で最も取扱いが多かった石油製品の輸送が始まり、仙台塩釜港の陸上における復興の大きな一歩になりました。



編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 編集委員

〒983-0001

仙台市宮城野区港三丁目1-3 アクセル5階

TEL:022-254-3132

FAX:022-254-3136

E-mail: sdsgkowns@pref.miyagi.jp